

仕上げのこだわり

記憶の彼方に、或いは記録写真にしか残らない
鉄道車両たちが匠の技で見事に蘇ります



1925年に王子電軌が導入した木造ボギー車400型の1両を模型化しました。
大正14年製であることから、400型となったと言われています。写真ではわかりにくい
ですが、木造車体の板張りが再現されています。

左は、王子電車400型 戸袋窓改造前（写真提供 宮松慶夫様）

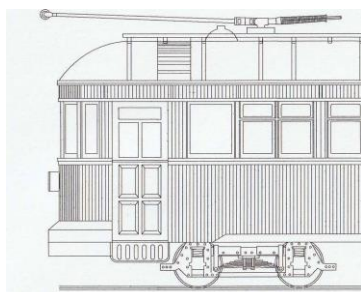


リビングや書斎にそのまま飾れる樹脂製
透明ケースが付属されています。



特製電池ボックス（単三電池3本）につ
なぐと車内の灯がともります。

東京城北では王子電車の開業と共に電灯
がつけました。きっと当時の人々は、車
内からもれる灯りに感激したことでしょう。



※本製品はH0ゲージ（実物の80分の1）ディスプレイモデルです。モーターはついておりません。
※こちらの試作品では木製の窓枠、前後の扉がニス塗りを表現した色になっておりますが、販売品では
これらの部分も車体と同色になります。

製作：のぞみ工芸 赤松輝雄氏